



としょだより

6月号

富山南高校 図書委員会発行

～教養講座を終えて～

山本先生をお迎えして6月14日(金)に本校視聴覚室で開催した教養講座では、「No.1 数学教員のつくり方。～山本センセの読書歴～」と題してお話いただきました。



朝昼晩数学漬けて、たまにバドミントンをするのが、まるで天国のような生活だったと話された山本先生の大学時代に、驚く声が多かったです。また、ひとつのことを追求して没頭する姿にも感心する声が多くありました。



本の紹介では、本との出会いなどのエピソードを聞くことができました。数学の本以外にも哲学や歴史の本を紹介してくださいました。紹介された本の一部を紹介します。なお、紹介された本は図書館に展示しています。

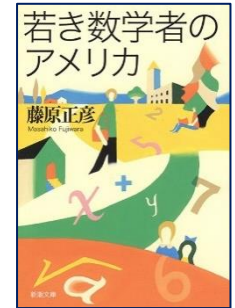


紹介された本(一部)その他図書館に展示しています

『若き数学者のアメリカ』藤原正彦(著) 新潮社

藤原正彦が若き日の苦悩を描く、感動の米国武者修行!

1972年の夏、ミシガン大学に研究員として招かれ、セミナーの発表は成功を収めるが、冬をおかえた厚い雲の下で孤独感に苛まれる。翌年春、フロリダの浜辺で金髪の娘と親しくなりアメリカにとけこむ頃、難関を乗り越えてコロラド大学助教授に推薦される。知識は乏しいが大らかな学生たちに週6時間の講義をする。自分のすべてをアメリカにぶつけた青年数学者の躍動する体験記。



『博士の愛した数式』小川洋子(著) 新潮社

[ぼくの記憶は80分しかもたない]

博士の背広の袖には、そう書かれた古びたメモが留められていた。記憶力を失った博士にとって、私は常に“新しい”家政婦。博士は“初対面”の私に、靴のサイズや誕生日を尋ねた。数字が博士の言葉だった。やがて私の10歳の息子が加わり、ぎこちない日々は驚きと歓びに満ちたものに変わった。あまりに悲しく暖かい、奇跡の愛の物語。

第1回本屋大賞受賞。



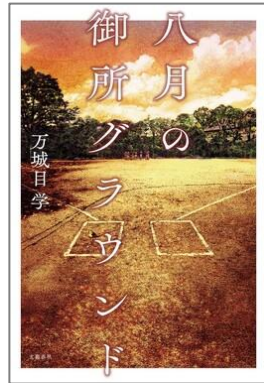


この夏、読んでほしい！

『八月の御所グラウンド』

万城目学(著) 文藝春秋

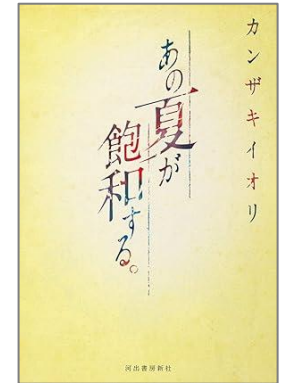
女子全国高校駅伝にピンチランナーとして参加することになった、絶望的に方向音痴な女子高校生のお話と、借金のカタに早朝の御所グラウンドで謎の草野球大会に参加する羽目になった大学生から成る、感動作 2 篇の本です。死んだはずの名投手とのプレーボール、戦争に断ち切られた青春、京都が生んだ優しい奇跡のお話を、是非読んでみてください。
第 170 回直木賞受賞作!



『あの夏が飽和する。』

カンザキイオリ(著) 河出書房新社

この作品はボカロPであるカンザキイオリさんが、作曲された「あの夏が飽和する」という楽曲を小説として書き下ろされたものです。主人公東千尋の中学時代の夏に罪からの逃避行の果てに彼女である「流花」が自殺してしまい、そして13年後生き写しの「瑠花」が現れます。破滅に向かう瑠花と同級生の武命、千尋は中学時代の苦しみを乗り越えて2人を救えるか。ひと夏の戦いがはじまります。



ぜひ楽曲と一緒にこの夏、読んでみてはいかがでしょうか。

『神さまのいる書店 まほろばの夏』

三萩せんや(著) KADOKAWA

自分の居場所を見つけられないでいる本好きの女子高生、ヨミは夏休みに不思議な本屋と出会う。そこは魂の宿る生きた本「まほろ本」を取り扱う「まほろば屋書店」。本への恩返しをがしたいと思っていたヨミはそこでバイトをすることに。まほろ本の「中の人」、サクヤとの出会いをきっかけに、ヨミは少しずつ成長していく…。



1人と1冊の、少し不思議な夏を描いた書店ファンタジー。

新刊案内

『心は孤独な数学者』、『メンタル脳』、『SDGsから考える世界の食料問題』、『〈本の姫〉は謳う』など、たくさんの本が図書館に入りました！ぜひ図書館に足を運んでください。詳しい新刊リストは、Google Classroom を御覧ください。

